

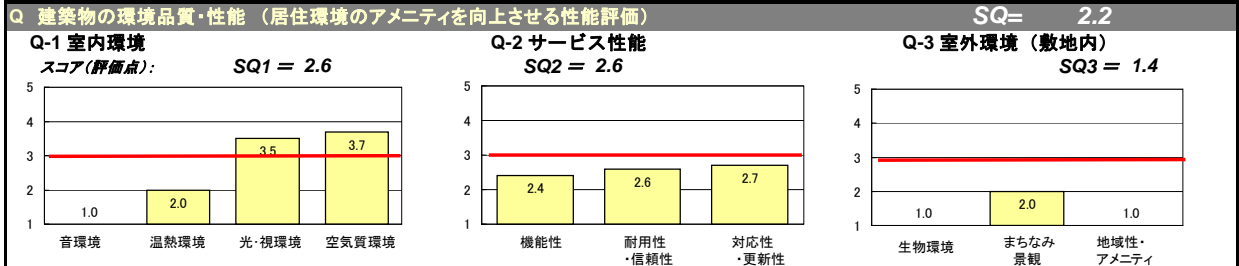


作成日 2006年11月2日 作成者 濱田 仁 確認日 2006年11月7日 確認者 粕谷 國夫

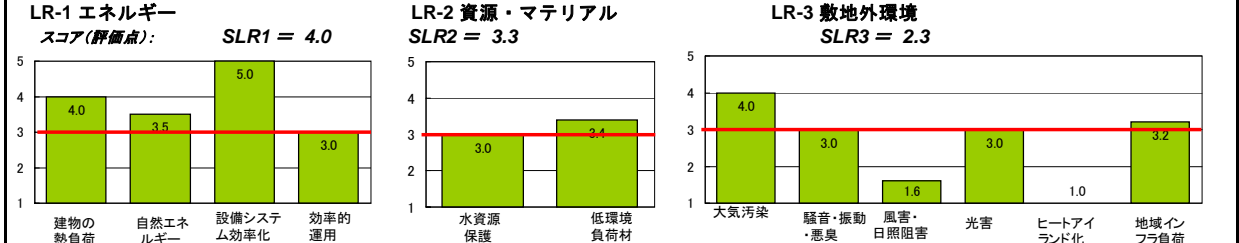
(1) 建物概要

建物名称	(仮称)STOCK綾部店	敷地面積	10,067 m ²	
建物用途	物販店	建築面積	4,903 m ²	
建設地	京都府綾部市	延床面積	4,880 m ²	
気候区分	地域区分V	階数	地上1F	
地域・地区	準工業地域、防火指定無し	構造	S造	
竣工年	2007年3月 予定	平均居住人員	3,640 人	
		年間使用時間	4,927 時間/年	

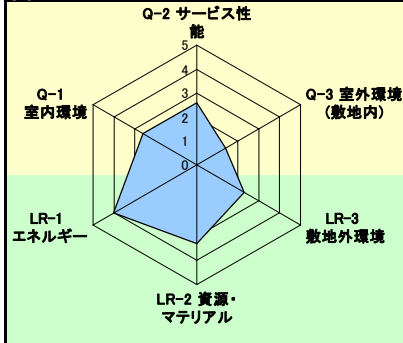
(2-1) 環境性能評価結果 (バーチャート)



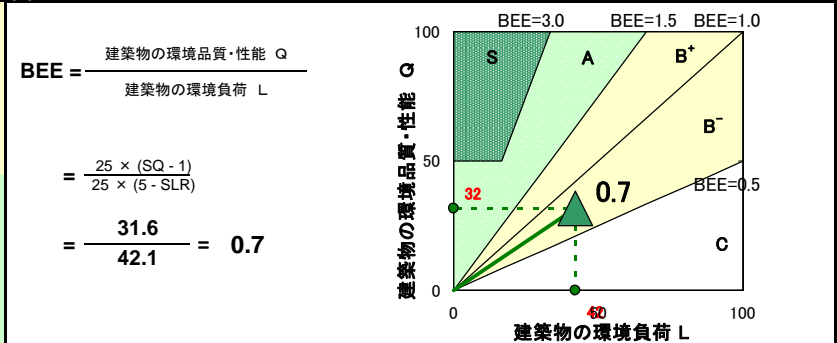
LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)



(2-2) 環境性能評価結果 (レーダーチャート)



(2-3) 環境性能効率 BEE



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

(3-1) 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

＜実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入＞

項目	年間延床面積あたり指標		人・時間あたり指標		削減率 %	0	10	20	30	40	50 %
	年間延床面積あたり指標	削減率 %	人・時間あたり指標	削減率 %							
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²		MJ/人時								
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²		kg-CO ₂ /人時								
水消費量	m ³ /年m ²		m ³ /人時								
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²		kg-CO ₂ /人時								
LC廃棄物量	t/年m ²		t/人時								
LC資源消費量	t/年m ²		t/人時								

(3-2) デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画

注: 有資格者による設計: 用途上売り増部分が大量空間となり、この部分のエネルギー削減が省エネルギーの大きな要素となる為、外壁、屋根面の断熱性向上を計り、設備機器更新を容易にするため売り増部分を天井無し空間としている。またクリーンエネルギー利用のため、オール電化を採用している。

凡例 Q: Quality L: Load LR: Load Reduction SQ: Score of Q category SLR: Score of LR category BEE: Building Environmental Efficiency
備考 注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。
注2: Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1, Q-2, Q-3)のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値から算定。
Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1, LR-2, LR-3)のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値から算定。
注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。